

報道機関各位

(公財)長岡市芸術文化振興財団事務局長



## 長岡市×長岡市芸術文化振興財団×東京フィルハーモニー交響楽団 事業提携 10周年を記念した特別演奏会を開催



当財団は、長岡市とともに東京フィルハーモニー交響楽団と事業提携し、市民との創造的な文化交流を進めており、今年度は提携10周年の節目となります。

本公演は、指揮者に東京フィル名誉音楽監督のチョン・ミョンフンを迎え、名曲の数々をお届けします。チョン・ミョンフンと東京フィルは、昨年秋のヨーロッパツアーで大成功を収めたことが現地でも華々しく報道されました。また、ブルッフの協奏曲では、国際的に活躍する新進気鋭のヴァイオリニスト、岡本誠司がソリストを務めます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

### 事業提携 10周年 東京フィルハーモニー交響楽団長岡特別演奏会

- 公演概要** 日時：2月21日（土） 14:00 開演（13:15 開場）  
会場：長岡市立劇場・大ホール  
曲目：ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲（ウェーバー没後200年）  
ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲第1番 ヴァイオリン：岡本誠司  
メンデルスゾーン／交響曲第3番「スコットランド」
- 詳細** 別紙資料のとおり
- 出演者** 指揮：チョン・ミョンフン（東京フィルハーモニー交響楽団 名誉音楽監督）  
ヴァイオリン独奏：岡本誠司  
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

#### 【昨年度の来場者の感想】

- ・大曲、難曲を見事な演奏で聴かせていただきました。
- ・初めて聴く曲でしたが、楽器一つ一つの音色を楽しめているような旋律でストーリーを感じられた。オーケストラ、音楽、素晴らしいです！！  
来年も参加したいです。ありがとうございました。
- ・日本のオケでこれだけ感動したのはあまり経験がありません。
- ・20年ぶりに演奏を聴きました。すばらしくて最後は涙が出ました。初めて鑑賞した10歳の娘もすごいすごいと大感動。これを機に家族でまた必ず聴きにきます。



R6年度 長岡特別演奏会の様子

問い合わせ：(公財)長岡市芸術文化振興財団事業課 殖粟 TEL 0258-29-7715

長岡市×長岡市芸術文化振興財団×東京フィルハーモニー交響楽団  
事業提携10周年記念公演

# 東京フィルハーモニー交響楽団 長岡特別演奏会

指揮：チョン・ミヨンフン(東京フィル 名誉音楽監督)

主催＝(公財)長岡市芸術文化振興財団

助成＝(公財)ローム ミュージック ファンデーション

協賛＝北越コーポレーション(株)、(株)第四北越銀行

共催＝NST新潟総合テレビ

協力＝(公財)長岡市米百俵財団

## 開催趣旨

公益財団法人長岡市芸術文化振興財団は、2015年より「地域文化創造プロジェクト」としてスタートした東京フィルハーモニー交響楽団との事業提携10周年を記念し、オペラの殿堂、ミラノ・スカラ座の次期音楽監督にアジア人で初めて就任する世界的指揮者であり、東京フィルの名誉音楽監督のチョン・ミョンフン氏と、数々の国際コンクールで優勝を果たしている注目のヴァイオリニスト、岡本誠司氏を迎え、長岡市立劇場・大ホールにて、東京フィルハーモニー交響楽団長岡特別演奏会を開催いたします。

事業提携10周年という節目だからこそ実現したスペシャルコンサートです。世界水準の演奏を長岡市民の皆様にお届けします。

# 公演概要

日時 2026年2月21日(土) 開場13:15 開演14:00

会場 長岡市立劇場・大ホール

料金 S席:8,000円 A席:6,000円 全席指定

※長岡市内の小・中学生には、(公財)長岡市米百俵財団による特別価格の鑑賞支援があります。⇒  
<https://www.nagaoka-caf.or.jp/2025/12/18/komehyappyou/>



・お問い合わせ:(公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715 公演ページ⇒



## 【出演】

指揮:チョン・ミョンフン (東京フィル名誉音楽監督)

ヴァイオリン:岡本誠司\* J.S.バッハ国際コンクール優勝、ARDミュンヘン国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門第1位

管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団

## 【曲目】

ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲 (生誕240年&没後200年)

ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲第1番\*

メンデルスゾーン／交響曲第3番「スコットランド」

# トピック①:2025年度は長岡市と東京フィルの事業提携締結10周年の記念年

## 東京フィル提携地域文化創造プロジェクト

長岡市及び公益財団法人長岡市芸術文化振興財団と公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団は、音楽活動を通じて教育的、創造的な文化交流を進める地域文化創造プロジェクトの実施を目的として、2015年3月12日に「事業提携協定」を締結しています。

### 事業提携 10年の歩み

#### 感動体験

##### 東京フィル 演奏会

###### 特別演奏会

世界トップレベルの指揮者・ソリストとフルオーケストラによるコンサート

###### わくわくコンサート

0歳児から気軽にクラシック音楽が楽しめるコンサート



わくわくコンサート

#### 地域との交流

##### 東京フィル コミュニティコンサート

市内のコミュニティセンターなどに東京フィルのメンバーが訪問し、室内楽を披露。トーク付きの親しみやすい内容で、生演奏をお楽しみいただきます。



コミュニティコンサート

#### 次世代育成

##### 楽器ワークショップ

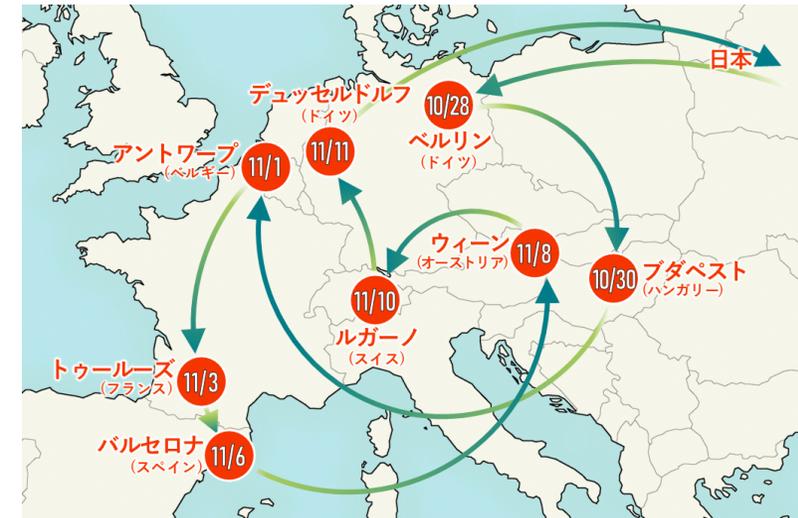
市内中学校の吹奏楽部を対象に、東京フィルのメンバーが指導を行うワークショップ。コンクールなどで成績を伸ばしている学校が増えています。



## トピック②:クラシック音楽の発祥の地、ヨーロッパで完売続出、クラファンも実施

東京フィルハーモニー交響楽団 ヨーロッパ・ツアー2025 指揮:チョン・ミョンファン(名誉音楽監督)

- ◆ツアー実施期間は 2025年10月28日～11月11日。
- ◆欧州7カ国8都市(ベルリン、ブダペスト、アントワープ、トゥールーズ、バルセロナ、ウィーン、ルガーノ、デュッセルドルフ)の名門ホールにて開催。
- ◆8公演のうち7公演が完売、キャンセル待ちも出る程の注目度の高さ。
- ◆ツアー一行は総勢130名という大所帯。欧州内は主にチャーター機(専用機)で移動した。
- ◆日本のオーケストラの海外公演では、日本の作品をプログラムに入れるが、今回はあえて日本の作品を排し、国際的・オーケストラとして臨んだ。
- ◆各地でスタンディングオベーションが起き、大喝采に包まれた。
- ◆「東京で東京フィルの演奏を聴いてファンになったから来た」という現地の聴衆が複数いた。
- ◆欧州ツアー中、4か所の日本人学校及び現地高校にてアウトリーチ(室内楽)を実施。多忙なスケジュールの中でも、子どもたちとの文化交流を図った。
- ◆ツアーの資金調達のためクラウドファンディングを実施。392名のサポーターによる支援を得て目標額の1千万円を達成した(支援総額は10,212,000円)。



ウィーン公演  
演奏動画  
※medici.tv



ツアー  
ショート動画  
※東京フィル  
YouTube



ツアー  
レポート  
※東京フィル  
note

## トピック③: チョン・ミョンフン & 東京フィルに、ヨーロッパ各地が絶賛！

東京フィルハーモニー交響楽団 ヨーロッパ・ツアー2025 指揮: チョン・ミョンフン(名誉音楽監督)

公演レビュー (抜粋)

**チョン・ミョンフンは卓越したオーケストラの格と芸術性を見事に示した**

ドイツ・デュッセルドルフ公演レビューより

**弦楽器の技術的完成度、木管楽器の卓越した力量、金管楽器の力強さ、打楽器の正確さが際立つ**

ドイツ・ベルリン公演レビューより

**楽団員たちは皆、自分の役割を完璧に果たし、精密で信じられないほどの情熱と音楽への敬意をもって演奏した**

ハンガリー・ブダペスト公演レビューより

**忘れがたい、まさに素晴らしい音楽の夜—**

スペイン・バルセロナ公演レビューより

**観客は総立ちとなり、客席や満員のバルコニーから鳴り止まぬ拍手が巻き起こった**

スイス・ルガーノ公演レビューより

## トピック④: チョン・ミョンフン氏は2027年よりイタリアのオペラの殿堂、ミラノ・スカラ座の音楽監督に就任！東京フィルとの絆は25年におよぶ

### チョン・ミョンフン(指揮者) Myung-Whun Chung, conductor

- 韓国ソウル生まれ。マンネス音楽学校、ジュリアード音楽院でピアノと指揮法を学ぶ。1974年チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門第2位。その後ロスアンジェルス・フィルにてジュリーニのアシスタントとなり、後に副指揮者。ザールブリュッケン放送響音楽監督および首席指揮者(1984～1989)、パリ・オペラ座バスティーユ音楽監督(1989～1994)、ローマ・サンタチェチーリア管首席指揮者(1997～2005)、フランス国立放送フィル音楽監督(2000～2015。現在は名誉音楽監督)、ソウル・フィル音楽監督(2006～2015)、シュターツカペレ・ドレスデン首席客演指揮者(2012～)、KBS交響楽団桂冠指揮者(2022～)、クラシック・プサン(釜山コンサートホールおよび同歌劇場)芸術監督(2023～)等を歴任。1997年に本人が創設したアジア・フィルの音楽監督も務める。
- 2022年6月、イタリア共和国功績勲章であるグランドオフィサーの称号を長年にわたるイタリアの文化発展への貢献に対して受勲。2023年3月、イタリア・ミラノのスカラ・フィルハーモニー管弦楽団として初めての名誉指揮者に就任。**2027年よりミラノ・スカラ座音楽監督への就任が発表された。**
- 2001年東京フィルハーモニー交響楽団のスペシャル・アーティストック・アドバイザーに就任、2010年より桂冠名誉指揮者、2016年9月に名誉音楽監督に就任。ピアニストとして室内楽公演に出演するほか、アジアの若い演奏家への支援、ユニセフ親善大使、アジアの平和を願う活動など多岐にわたり活躍している。



©上野隆文



ブダペスト芸術宮殿 (ハンガリー)

「プロフェッショナルになればなるほど、お互いの信頼が演奏にダイレクトに反映します。しかし、東京フィルとはそのレベルを超え、お互いを人として、魂のレベルでつながっているのです」 — チョン・ミョンフン

NHK-BS1スペシャル 「必ず よみがえる～魂のオーケストラ 一年半の闘い～」  
インタビューより (2021年9月初回放送)

## トピック⑤:ヴァイオリニストの岡本誠司氏は難関国際コンクールの覇者。 ドイツと日本を行き来して活躍する国際派！

岡本 誠司(ヴァイオリン) Seiji Okamoto, violin

第19回J.S.バッハ国際コンクールヴァイオリン部門にてアジア人で初優勝。2019年エリザベート王妃国際音楽コンクールファイナリスト、2021年ARDミュンヘン国際音楽コンクールヴァイオリン部門第1位入賞などの実力派。現在ドイツを拠点に精力的な演奏活動と後進の指導にも当たる一方、Japan National Orchestraのコンサートマスターを務めている。これまでにベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、MDR ライプツィヒ放送交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団など多数共演。2022年文化庁長官より表彰。第31回出光音楽賞受賞。ヴァイオリンはNPO法人イエロー・エンジェルよりM.ゴフリラー(1702年製)の貸与を、日本ヴァイオリンソサエティよりF.ガリアーノ(1777年製)の貸与を受けている。

公式サイト <https://seijiokamoto.net/>



©S, Ohsugi

## トピック⑥:東京フィルは日本最古・最大、国内年間来場者数最多のオーケストラ

### 東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『クラシックTV』『東急ジルバスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあっ！』などの放送演奏の他、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、2025年秋には名誉音楽監督チョン・ミョンフンとのヨーロッパ・ツアーを実施し、その演奏が現地でのラジオやインターネット配信で放送されるなど国際的な存在感を高めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を、愛知県刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

公式ウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/>

